

みんなで協力
みんなで楽しむ

子ども会は、主に町内会などの単位で組織され、近所に住む幼児から高校生までの子どもたちが加入しています。キャンプやクリスマス会、施設見学、公園の清掃など、それぞれの地域に合わせた活動をしています。

行事などは、みんなで話し合い、計画・事前準備から実施まで、子どもたちの手によって行われます。子ども会の会長を手伝いながら、取りまとめなど中心的役割を担うのは、リーダーです。小学校高学年以上の子どもたちが、四〜六年間の研修を受けて、子ども会の運営に必要な知識などを身に付けリーダーとなります。

また、子ども会の活動は、町内会や青少年育成委員会、学校、PTAなど地域の人たちを支えられています。活動に直接かわり、協力をするのが育成者です。育成者は、子どもたちの年齢や、リーダーの成長に合わせて、指導や助言をしています。



百人一首では、みんな真剣。お年寄りの迫力に押される場面も

遊びを通して
ふれあいを

厚別中央振興会の「厚別しなの子ども会」には、約百八十人の子どもたちが加入しています。キャンプやクリスマス会、お年寄りとの交流や町内会の行事に参加するなど活発に活動しています。

一月八日には、老人クラブ「厚別中央寿会（松川しお会長）」との新年おたのしみ会が行われました。子どもからお年寄りまで約六十人が参加。お手玉や竹割りを教えてもらったり、百人一首で対戦した



寿会の皆さんが作ってくれた豚汁とおしるこは、とてもおいしくて、おなかいっぱいになりました

りするなど、楽しい時間を過ごしました。子どもたちが通う、信濃小学校の上ノ山徹校長先生も参加。ジャンケンゲームなどで盛り上げてくれました。

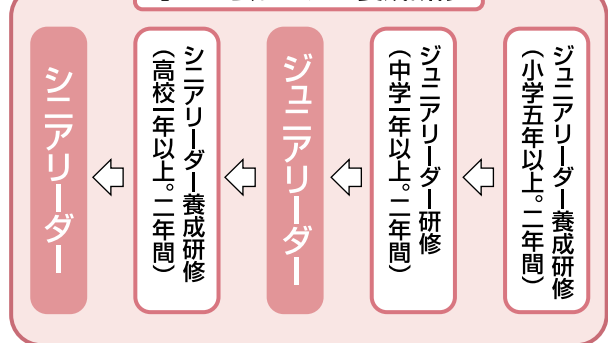
育成者の多々見朋子さんは「子どもたちと一緒にいると楽しくて、元気がもらえます。最初はおとなしかった子が、積極的になるなど、子どもたちの変化や成長を見ていることが楽しみ」と話してくれました。自分の子どもも子ども会で活動しているという多々見さん。育成者となって、もう七年になります。「子ども

リーダーの成長が
子ども会の成長

会活動を通して、地域の人たちとふれあっていると、自分たちも地域の一員だと自覚できます。親も一緒に、子ども会に参加して、楽しさを味わってほしい」と呼び掛けています。

札幌市子ども会育成連合会では、子ども会で中心的役割を担うリーダーの養成に力を入れています。育成者をはじめ地域の人たちと協力しながら、各区で特色のある研修が行われています。今年度、厚

子ども会リーダー養成研修



別区では、夏季キャンプや行き先の分からない列車泊研修冬の自然を体験する冬季研修が行われました。

夏季キャンプは、八月一日から三日にかけて、小野幌キヤンプ場で行われました。北海道開拓の村の探索、キヤンプ場の清掃などすべての行動が研修です。夕食づくりももちろん大事な研修の一つ。グループごとにメニューを考え、買い出しからかまど作り、飯ごうを使っての炊飯まで、先輩リーダーの指導の下、みんなで協力して作りました。二日には、姉妹都市交流で札幌